

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成28年6月27日
タイトル	初めて粃蒔きをしたよ！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成28年5月27日（金）福山市立駅家西小学校5年生43名が、駅家西学区内の町内会長の協力で水土里ネット福山の組合員の岡田国彦さん指導の下、粃蒔きを体験しました。

体育館と校舎の渡り廊下で、粃蒔きについて岡田さんより教えていただきました。岡田さんが用意して下さった水に浸けて発芽した粃を子どもたちは、一人一人手に取って見ながら説明を聞きました。

白い芽が出ていても水だけでは大きくなれないことや、これを土に埋めて約5日間で白い芽が2、3cm伸び、田植えまでには20cmくらいの長さになることなどを聞きました。

子ども達は6班に分かれて町内会長さん達が指導についてくださり、粃蒔きをしました。

深さ3cmの箱へ2cmまで土を入れ、先程観察した粃を万遍なく蒔きます。土が見えなくなるほど粃を蒔き、その上から1cmほど土を被せました。粃が発芽しているため、芽を傷つけないようにやさしく扱うように教えてもらい、そうと蒔いていました。



米の品種は「ヒノヒカリ」だよ！



みんな真剣な表情で粃蒔きをしています！

蒔き終わった箱は、日当たりの良い校長室前へ運ばれ、水吐けをよくするために少し浮かせるように骨組みをした上に箱を置き、たっぷり水をまいて布を被せました。これから、約4日間このままにしておき、芽が2cmほど伸びたら、被せていた布を取り、子ども達が毎日水まきをして田植えに備えます。

今年も昨年同様、駅家西小学校のすぐ北側にある約500㎡のほ場で農業体験をします。今年は5年生が他の学年に比べて20人ほど少ないため、ほ場の3の1は田植え機で植えておき、残りの3分の2を手で植える予定だそうです。



たっぷり水をまきます！



育苗について真剣に聞いています！

籾蒔きの後、水路等への転落防止の呼びかけを行いました。「ため池や農業用水路は、農業にとってとても大切なものですが、水路へ入って遊んだりしないように。ため池や水路へ誤って転落しないように気をつけましょう。」と話すとき真剣な眼差しで聞いてくれました。



家庭でも、ため池や水路に対する防災意識を高めてもらうため、福山市上下水道局から提供の災害備蓄用飲料水「ばらのまち福山の水」と水路等への転落防止を呼びかけたチラシを配布しました。しっかり聞いてくれ、みんな笑顔です！

最後はとても大きな声で、お礼を言ってくれました。ひとり一人が元気一杯で澆刺としていて、他の学年に比べての人数の少なさを感じませんでした。最後に5年生全員で集合写真を撮りました。

今年も駅家西小学校のすぐ北側にあるほ場で、町内会長さんをはじめ地域の方の協力をいただき、子ども達が今ではめずらしい、籾蒔きから育苗、手で植える田植え、鎌を使った稲刈りといった昔ながらの農業体験をする予定です。

水土里ネット福山では、一年を通じて農業体験の様子を取材し、子ども達の眼差しを大人へのメッセージとして発信します。